

# これまでの実績を活かした菅生地域ならではの寺子屋

神奈川県川崎市

活動名

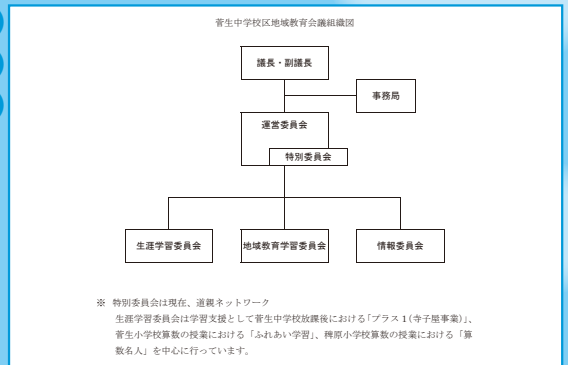
菅生中学校区地域教育会議  
地域の寺子屋

関係する学校名

菅生中学校、菅生小学校、稗原小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所		学習支援			放課後児童クラブとの連携			
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	2人	7人	74人	有	26年度	有	0	無	
コミュニティ・スクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



**活動の概要・経緯**

○菅生中学校区地域教育会議は、市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織として平成6年に立ち上がり、校区内の学校活動の支援、子供や地域が交流する集会の実施、子ども会議の実施、大人も子供も親しく声をかけ合える優しい地域を目指した「道親ネットワーク」活動、中学校や小学校での学習支援など、多彩な活動に取り組んできた。

○平成26年度から川崎市が土曜日の教育活動の枠により「地域の寺子屋事業」を立ち上げるにあたり、立ち上げ初年度のモデル事業として、当該事業に取り組むこととなった。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 中学校で行う放課後の学習支援「プラス1」と、土曜日にこども文化センターや地域の公民館を会場に行う体験活動をセットで実施している。
- 「授業についていけない子供をできるかぎりなくしていこう！」をテーマに、分からないところを分かるようにする、分かる楽しさを感じてもらう、地域の頼れる大人として接することをモットーとして、平成20年から中学校での学習支援「プラス1」に取り組んでいた。この活動を継承する形で、当該事業を実施している。
- 土曜日の体験活動では地域の世代間交流を目的としたお祭りや、こども文化センターを会場に行う「菅生こども大学」などを実施し、校区内や近隣の小学生や保護者、地域の方も多く参加している。

### 【実施に当たっての工夫】

- 中学生は通常の放課後や土曜日は部活動があって忙しいため、テスト前の部活動停止期間や長期休業中などに学習支援を実施している。
- 地域の大人が「寺子屋先生」として学習をサポートし、英語と数学を中心に、生徒一人ひとりに対応している。学校・教員との協働活動となっており、教員が直接支援に携わることはないが、会場の提供、寺子屋先生とのミーティング、生徒への声掛けなど、実施にあたって多くの協力を得ている。
- 体験活動においては、特に地域の人材を寺子屋先生として、茶道、パンづくり、野菜の収穫、外国の文化、護身術など多彩な活動を実施している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 学習支援については生徒の自主性に任せた参加としているが、全生徒の半分以上が参加している。
- ほとんどの生徒が目的を持って参加しており、生徒からは「分からないところが分かった」という声が多く寄せられている。
- 「保護者、地域住民、教職員等の大人である私たち一人ひとりが、子供を育てることにおける共同責任者である」という考えのもと、学力向上という地域の教育課題の解決に向けて、学校と地域が同じ目的を達成するパートナーとして活動している。
- 地域の交流を目的としたお祭りは、校区内の中学生、小学生、保護者、未就学児の子育て世代、地域の大人、シニア世代など多世代の交流の場となっている。



地域の農園で野菜の収穫体験



地域みんなの交流の場となる菅生手つなぎ祭り